

山陰中央新報



打ち合わせをするオールアバウトエンファクトリーの松田俊明執行役員(左から2人目)ら、サイトを開設した4者の関係者＝東京都内

鳥取応援サイト誕生

地域の達人通し魅力発信

地元の魅力的な「人」を通して鳥取県の魅力を発信するサイト「epology(エポロジー)」は、インターネットを活用して職人の支援事業などを手掛けるオールアバウトエンファクトリー(東京)と、まちづくり

ごとに地域の達人が登場してPR。人口最少県・

来(倉吉市)、ウェブシステム開発のITTR(鳥取市)、総合プロデュース業のトレードマーク鳥取(同)の4者。

鳥取中部ふるさと広域連合から、インターネットを使った移住定住促進事業の委託を受けたことをきっかけにサイトを立ち上げ、「水」「風力発電」「ウォーキング」「おもてなし」の4テーマを設定した。このうち、おもてなしでは、三朝温泉の旅館「大橋」の大橋一枝若女将のケースを紹介。ろうそくでいざり火を表現するなど「日本海」をイメージして名物の白いかの刺し身を盛りつけたところ、涙を流して喜んだ宿泊者のエピソードなど、

料理を通しておもてなしの心を伝えている。

地元の3者と意気投合したオールアバウトエンファクトリーの松田俊明執行役員は「地域の皆さんの熱意にこたえたい」と強調。今後、名産の因州和紙の販売や風力発電見学ツアーなども検討しており、息長く、移住定住支援に取り組む考えだ。

サイトは<http://www.epology.jp/>。